

9月25日（木）までにFAXにて提出をお願いします。

FAX 086-803-1776 (Tel086-803-1638)

岡山市医療政策推進課 守安 宛

デイサービス改善インセンティブ事業におけるアウトカム指標検討のための 調査研究研修のご案内

現在、岡山市ではデイサービス改善インセンティブ事業において状態像の維持改善のアウトカム評価の導入（奨励金の付与）を検討するためのデータ収集を目的として、慢性期病棟で看護の必要度を図る指標として利用されている日常生活機能評価票を活用した調査研究（以下、調査研究）を行う予定としています。

つきましては、デイサービス利用者に対して、日常生活機能評価の実施に協力していただくことのできる事業所を募集したいと考えております。

当該調査研究は手あげ方式で募集を行いますが、募集に先立ち下記のとおり研修会を開催いたしますので、各事業所においては積極的な参加をお願いします。（調査研究の概要は別添参照）

なお、当該調査研究への最終的な参加意向は、下記研修会の受講後に改めてご伺いいたします。（研修会当日に意向調査をお渡しします。）

1 日時 平成26年10月9日（木） 18:00～19:30（受付17:30）

18:00～18:15 事業説明

18:15～19:10 講演

19:10～19:30 質疑応答

2 場所 桑野ふれあいセンター

3 講師 兵庫県立大学 教授 筒井孝子氏（前厚生労働省国立保健医療科学院 統括研究官）

「デイサービスにおける日常生活機能評価での調査方法について」

○研究領域

研究領域は、医療・保健・福祉領域のサービス評価。看護サービス量の予測システムの中核である「看護必要度」研究、ならびに、介護保険制度設計の際には、要介護認定システムにおけるコンピュータによる一次判定システムの開発研究を担当した。また、「地域包括ケア研究会」の委員として、同研究会報告書（2009年、2010年、2012年、2013年）の取りまとめに参画した。

2012年、厚生労働省老健局「介護支援専門員（ケアマネジャー）の資質向上と今後のあり方に関する検討会」委員。同年～2014年現在、中央社会保険医療協議会「診療報酬調査専門組織入院医療等の調査・評価分科会」。2014年、内閣官房「医療・介護情報の活用による改革の推進に関する専門調査会」委員。

○主な書籍

筒井孝子著『地域包括ケアシステムのサイエンス』（社会保険研究所、2014年）

筒井孝子著『地域包括ケアシステム構築のためのマネジメント戦略』（中央法規、2014年）

筒井孝子著『看護必要度の成り立ちとその活用 -医療制度改革における意味と役割-』（照林社、2008年）

岩澤和子・筒井孝子編著『看護必要度 第5版-看護サービスの新たな評価基準-』（日本看護協会出版会、2014年）

4 参加申し込み方法

下記の申し込みフォームに必要事項を記載の上、9月25日（木）までにFAXにご返信ください。

9月25日(木)までにFAXにて提出をお願いします。

FAX 086-803-1776 (Tel086-803-1638)

岡山市医療政策推進課 守安 宛

※当該調査研究は、5つの指標の達成度を測るデイサービス改善インセンティブ事業への参加の有無は問いませんので、デイサービス改善インセンティブ事業に参加していない事業所であっても研修会にご参加ください。

※この度のFAXでのご連絡では下記の資料(全5枚)を送付していますので、不足等ありましたらご連絡をお願いします。

- 1 デイサービス改善インセンティブ事業 調査研究研修のご案内(同紙2枚)
- 2 デイサービス改善インセンティブ事業 調査研究研修スキーム (1枚)
- 3 日常生活機能評価票(1枚)
- 4 デイサービス改善インセンティブ事業の全体スキーム(1枚)

デイサービス改善インセンティブ事業 調査研究研修(10月9日(木))

参加申し込みフォーム

- 1 事業所名 _____
- 2 参加者名 ①役職 _____ 氏名 _____
②役職 _____ 氏名 _____
- 3 現時点での調査研究への参加意向の有無 有り 無し
(調査研究への最終的な参加意向は別途調査します)
- 4 平成26年9月1日時点の在籍している事業所の利用者数 _____ 名

※可能な限り2名での参加をお願いいたします。

デイサービス改善インセンティブ事業におけるアウトカム指標検討のための 調査研究研修スキーム（案）

1 目的

デイサービス改善インセンティブ事業におけるアウトカム評価の導入（奨励金の付与）のため、アウトカム評価の指標となりうると岡山市が想定する日常生活機能評価票を活用し、通所介護事業者の利用者の状態像の推移を定期的に調査するもの。

2 調査期間

平成26年度の調査は平成26年11月、平成27年2月の2回

※平成27年度以降は継続実施の予定（平成27年5月、8月、11月・・・）

3 調査実施者

日常生活機能評価表による調査研究研修（※）を受けた通所介護事業所の職員

※平成26年10月9日に岡山市主催において実施する研修

4 調査対象者

平成26年11月1日、平成27年2月1日を調査基準日とし、調査基準日で在籍している全利用者を調査月の第1週目に実施する。

5 調査に活用する指標

日常生活機能評価表（13項目）

※別添参照

※日常生活機能評価表のほかにご利用者の基本情報や疾病状況等についても併せて報告してもらうことを想定しています。

6 調査場所

通所介護事業所内

7 調査協力補助金

1回の調査、利用者1人につき300～400円程度

※補助金の確定は参加事業所数に応じて決定

8 調査サンプル数

約1000～1500人

※当該調査研究に参加する事業所数に応じて決定する。

9 想定スケジュール

平成26年

10月9日（木）調査研究 研修会の実施

10月17日 調査研究への最終意向調査〆切

10月下旬 契約手続き

11月1週目 第1回調査実施

11月2週目 市へ調査結果提出

12月 参加事業所への調査協力金の支払い

平成27年

2月1週目 第2回調査実施

2月2週目 市へ調査結果提出

3月中 参加事業所への調査協力金の支払い

4月以降 調査結果の報告

日常生活機能評価表

患者の状況	得点		
	0点	1点	2点
床上安静の指示	なし	あり	
どちらかの手を胸元まで持ち上げられる	できる	できない	
寝返り	できる	何かにつかまればできる	できない
起き上がり	できる	できない	
座位保持	できる	支えがあればできる	できない
移乗	できる	見守り・一部介助が必要	できない
移動方法	介助を要しない移動	介助を要する移動(搬送を含む)	
口腔清潔	できる	できない	
食事摂取	介助なし	一部介助	全介助
衣服の着脱	介助なし	一部介助	全介助
他者への意思の伝達	できる	できる時とできない時がある	できない
診療・療養上の指示が通じる	はい	いいえ	
危険行動	ない	ある	
※ 得点：0～19点 ※ 得点が低いほど、生活自立度が高い。		合計得点	点

デイサービス改善インセンティブ事業 全体スキーム

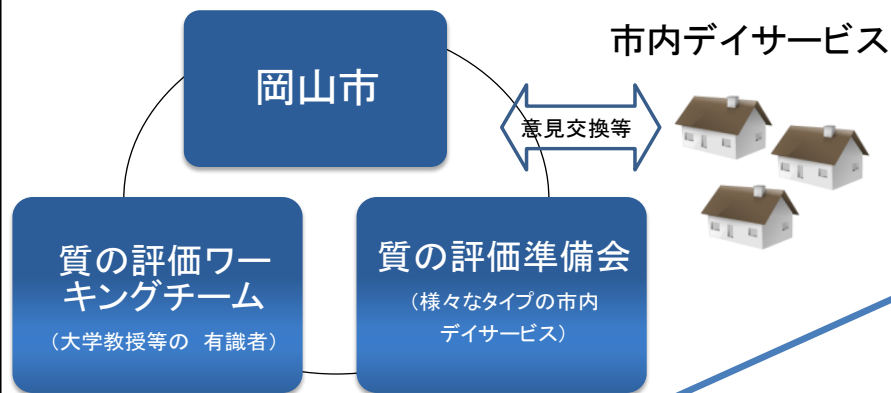
通所介護事業所の介護サービスの質を評価(ストラクチャー・プロセス・アウトカム評価)し、積極的に利用者の状態像の維持・改善を図る事業所へインセンティブを与えることで、事業所の介護サービスの質の向上を図るとともに市全体のデイサービスの質を向上を目指す。

サービスの評価項目の選定(平成25年度)

デイサービス改善インセンティブ事業スタート(平成26年度)

ストラクチャー・プロセス評価

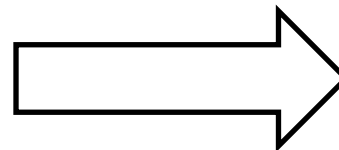
サービスの質を評価する項目(価値)・指標を、岡山市、通所介護事業所と共同して選定



【評価項目】

- ・外部研修の参加状況
- ・市主催の研修の参加状況
- ・認知症高齢者の受入人数
- ・昨日訓練指導員が有している国家資格取得者人数
- ・介護福祉士の人数

評価指標のデータの収集(事業開始前)



介護職員スキルアップ研修の開催

- 第1回 (7/18) 認知症の支援方法
- 第2回 (9/24) 口腔ケア
- 第3回 (11月予定) 未定

評価指標のデータの収集(事業開始後)

- 調査の結果、5つの評価指標の達成事業所を抽出
- 情報公開を行い、質の高い取組みの普及を図る

アウトカム指標の検討

調査研究事業の実施

- ・デイサービス改善インセンティブ事業へアウトカム評価の導入を目指し、「日常生活機能評価表」を活用し実施。
- ・参加事業所は手上げ方式で募集